

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の管理・運営

事業名	コード	名称
2005	2005	改良住宅ストック総合改善事業(改良住宅電気許容量改修工事事業)
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める

担当部課名	人権政策部同和課
作成者氏名	前川 清
連絡先	22 - 9633

事業の計画・内容

設置目的	旧上野市の改良住宅	対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)	改良住宅(上野地区)の電気許容量が20Aであり、電気製品の普及需用により、各戸における電気消費量が増える中、現在の電気許容量では対応できず、40Aに改修しようとするものである。
本年度事業内容	八幡地区改良住宅8～9号棟の電気許容量改善工事				
運営主体	直営 (委託先:	指定管理	民間委託等	根拠法令・要綱等	改良住宅等改善事業制度要綱
市内の類似施設					

投入資源

		H18	H19	H20
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳 (千円)	事業費(B)	12,712	10,063	6,356
	委託料			
	工事費	12,188	9,649	6,094
	その他	524	414	262
合計(A+B)		13,432	10,783	7,076
財源内訳 (千円)	特定財源	6,355	5,031	3,177
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		7,077	5,752	3,899
上記 ~ に関する特記事項				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 29 年度	
改善実施	棟	23	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H18目標値
旧上野市の改良住宅の改善率	改善済/全体23棟	%	8.7

評価	必要性	4	市の改良住宅は、不良住宅が密集して、保安等、危険又は有害な状況にある当該地区の環境の整備改善を図り、健康で文化的な生活を営むため住宅の集団的建設がされたものであり、昭和40年代後半から建設され、一部の住宅では老朽化が進んでいる。そうした中で、現在の生活ニーズに適応した、改善を行なう必要がある。
	有効性	4	改良住宅(上野地区)の電気許容量が20Aであり、電気製品の普及需用により、各戸における電気消費量が増える中、現在の電気許容量では対応できず40Aに改修し、住民のニーズに適応するものである。
	効率性	4	改良住宅入居者が多様なニーズに応えられ、安心して生活できる環境づくりが必要である。

総合評価

A